

<b>【技術の名称】</b> 新井組・松村組 RCS 構法 一柱梁接合部をふさぎ板で覆った鉄筋コンクリート柱・鉄骨梁混合構造一	性能証明番号：GBRC 性能証明 第 23-09 号 性能証明発効日：2023 年 8 月 7 日 <b>【取得者】</b> 株式会社松村組 株式会社新井組
---	--

**【技術の概要】**

本技術は、鉄筋コンクリート柱（以下、“RC 柱”と称す）と鉄骨梁（以下、“S 梁”と称す）で構成される混合構造の柱梁接合部をふさぎ板で覆い、S 梁が RC 柱を貫通する梁貫通形式の接合部構法である。本技術では、柱梁接合部のコンクリートをふさぎ板で拘束することにより、要求される柱梁接合部の許容耐力および終局耐力を確保している。なお、構造実験で性能を確認した上で、支圧板をふさぎ板で代用するディテールとしており、柱梁接合部に接続される S 梁に段差がある場合、S 梁が RC 柱に対して偏心する場合、柱梁接合部内の S 梁ウェブをダブルプレートで補強する場合の対応を可能にしている。

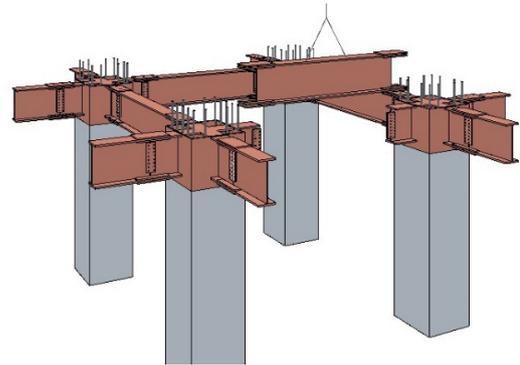
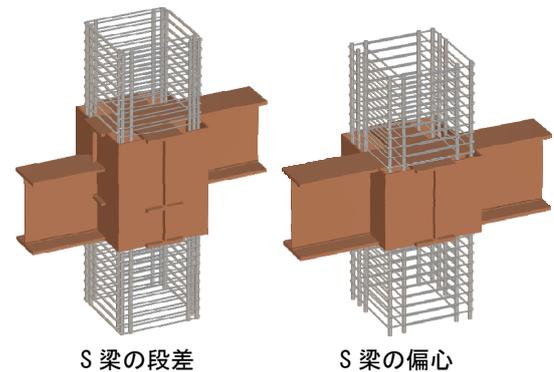


図 1 RCS 混合構造建築物

**【技術開発の趣旨】**

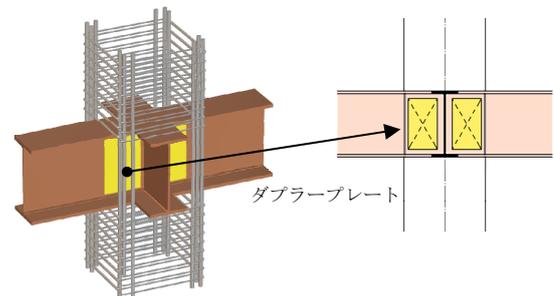
本技術は、大型の物流倉庫・商業施設などの建築物を対象とし、鋼材の納期など工期および施工費用の制約条件に対応する選択枝の一つとして RC 柱と S 梁からなる混合構造建築物の設計施工を可能とするため開発されたものである。



**【性能証明の内容】**

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「新井組・松村組 RCS 構法設計施工指針」に従って設計・施工された RC 柱 S 梁接合部は、長期荷重時に使用上支障となるひび割れ等の損傷を起こさず、短期荷重時に修復性を損なうひび割れ等の損傷を起こさない。また同指針で定める終局耐力を有する。



ダブルプレート補強

図 2 対象とするふさぎ板形式柱梁接合部

**【本技術の問合せ先】**

株式会社松村組 担当者：佐藤 武  
〒530-8588 大阪市北区天満 1-3-21 ニチレイ天満橋ビル  
株式会社新井組 担当者：樋口 誠  
〒662-8502 兵庫県西宮市池田町 12-20

E-mail : takeshi\_satou@matsumura-gumi.co.jp  
TEL : 06-6354-8806 FAX : 06-6354-6793  
E-mail : thiguchi-makoto@araigumi.co.jp  
TEL : 0798-26-8268 FAX : 0798-23-5266